

個人山行

## 南アルプス：甲斐駒ヶ岳

◆日程 2023年2月23日（木祝）～24日（金）

◆メンバー L：OT

独力で厳冬期のアルプスに登りたい。黒戸尾根なら、2018年、入会后直ぐに参加させて頂いた冬合宿で行ったことがある。自身最初の雪山縦走で、右手の指に凍傷を負った思い出の地だ。登山口へのアクセスも良い。飛び石4連休の前半二日に狙いを定め、天気予報を睨みながら出発を決定。ただ、二日目の方が下り坂の予報だ。可能なら初日の山頂アタックも選択肢とすべく、深夜に自宅を出発。



2月23日(木祝) 天候：曇のち晴

駐車場を夜明け前に出発。笹ノ平分岐付近で凍結のためアイゼン装着。足がつりだした。一人だといふ気持ちが先走る。芍薬甘草湯とアミノ酸でごまかして進み、目標の正午に七丈小屋着。テントを張って山頂方向を眺めると雲が掛かって見えない。脚も相当に疲労したので、初日登頂は断念して寛ぐ。

CT:尾白川溪谷駐車場5:40 - 笹ノ平分岐7:50 - 刀利天狗9:50 - 七丈小屋(幕営)  
12:10

2月24日(金) 天候：曇のち雪

4時起床、空はどんよりしているが、風はなく下界の明かりはくっきり。アタックにはちょうど良い。初日と同時刻、空に赤みが出てきた頃出発。テント場の脇の尾根を急登。

八合目以降は岩壁脇急斜面のトラバースや雪壁のダガーポジションによる登高やクライムダウンが連続。4年前は視界不良で周囲の様子が分からなかったが、今回は視界明瞭で高度感&緊張感抜群だ。山頂直下の大岩を過ぎて稜線に出ると雪が締まった岩とのミックルート。少し風が出ているが、実に穏やか。雪庇をトラバースして山頂到着。上層は薄雲に覆われているが、その下は360度のパノラマを堪能。登頂を今朝にしてよかった。4年前には風が強く視界不良だったので、大満足だ。幕営地に戻ったとたん、雪が降り出す。

撤収後、連続する梯子をクリヤして刀利天狗。と、太腿を中心に筋肉痛を自覚。それを無意識にかばったらしく靴擦れという負の連鎖に。昨年購入したインナーソールのおかげでつま先は無事だった代わりに土踏ましが靴擦れになるという珍事だ。歩き方がまだまだなのだろう。ピッケルとストックで支えながらゆっくりと下山。「尾白の湯」で寛いで帰途。(記：OT)

CT：七丈小屋 5:50 - 八合目 6:50 - 甲斐駒ヶ岳 8:20/8:50 - 七丈小屋  
10:20/11:30 - 刀利天狗 12:50 - 笹ノ平分岐 14:30 - 尾白川溪谷駐車場 16:20

